

県医労新聞

2013年12月
盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合
電話 019-623-8271
FAX 019-623-8273
URL <http://www.iwate-ken-irou.org/>

編集発行人
中野 るみ子
毎月1回発行1881号(月刊96号)



県医労フレッシュセミナー② (10月30日～31日)

目次

- 1 P 退勤時間調査
本部団体交渉
- 2 P 11.10秋の県民集会
復興一揆キャラバン
- 3 P 11.2なくせ原発！福島大集会
憲法キャラバン
支部ニュース
- 4 P 女性部ニュース
- 5 P フレッシュセミナー
- 6 P つぶやき、とんがらし
10月号パズル当選者
- 7 P 職場川柳 懸賞パズル
12・1月の予定
スキー・スノーボード交流会のお知らせ



胆沢支部 トトロケーキ作り(11月16日)

釜石支部では、「昼時間」は1時間休めていますか?」「残業は全部書いていますか?」と対話をしながらアンケートに記入してもらいました。「休みたくても休めない」という声が多く、中には体調が悪くても無理して働いているという人もおり、人員不足の深刻さを物語っていました。

各支部で工夫をこらし、クッキーやキャンディ、チョコ

退勤時間調査実施支部

10月31日・11月5日

11月6日
久慈支部

11月12日 遠野支部

11月18日
千厩支部

11月20日 中央支部

中央支部



上から、中部支部、釜石支部、磐井・南光支部

11. 本部外交報告

勤アンケート結果を医療局長に直接手渡し、交渉に臨みました。

年末年始の関係では基本姿勢を追及し、交代制の非番日の取り扱いに

職員定数拡大、人員配置では、年次取得を見込んだ人員配置、調理師の正規採用再開、医療クラークの正職員化等を求めました。局長は「業務量を見て必要な人員は配置している」「クラークは国家資格・免許ではないので配慮するよう求めました。局長は「制度と運用の問題であり、（非番日を）絶対入れるとか、絶対入れないではない。運用は病院長の判断」と、病院実態に併せて対応すれば良いとの考えを示しました。

「い」とし、意見として伺うとしました。

労働時間管理ではサーブिस超勤について追及しましたが、時間切れで十分な交渉はできませんでした。

補助者夜勤、夜勤専従看護師の導入については、局長は「問題があれば、局長は」問題があれば

みんなの要求実現集会 被災地から声をあげよう！

県内各地から400人参加

すべての県民要求を持ち寄り、大きな声にして実現をめざそうと、11月10日（日）、県公会堂を会場に「みんなの要求実現集会」が開催され、被災地からの代表など、約400人（県医労8支部・本部23人）が参加しました。実行委員長あいさつに



壇上で発言する〇〇書記長（右）

立ったいわて労連・金野議長は、「今回の集会は、沿岸をつないだ復興一揆の盛岡集会でもある。被災者の声を含め、みんなの要求実現にがんばろう」とあいさつ。来賓の日本共産党・斉藤県副委員長（県議団長）から県の対応などを含め、激励のあいさつがありました。

その後、岩手県出身の菊池紘弁護士を講師に、「安倍改憲はなにをめざすのか？」と題して、安倍政権のもとで進められていることが、海外で戦争する国への準備であることを分かりやすく学びました。

復興一揆での各地域からの報告、消費税増税、TPP交渉、特定秘密保護法など

の問題を、関係する諸団体が1分間でリレートークし、労働法制改革問題を県医労・伊藤書記長が、大幅増員署名のお礼を含め訴えました。

いわて復興一揆大行進 釜石で集結集会、市内を行進

かつての三閉伊一揆のように、困っている被災地から、中央に声を上げようと、いわて復興一揆が取り組まれました。

北コースは2日に洋野町を、南コースは3日に陸前高田市をそれぞれ出発。被災地、仮設住宅などを回り、4日は釜石市中妻体育館に集結。集結集会は、錦



集会後、盛岡市内をデモ行進し、市民にアピール

町町内会の「虎舞」で勇壮に幕が開き、主催者を代表して、いわて労連・金野議長があいさつ、全労連議長で全国災対連代表委員の大黒氏、日本共産党の斉藤県議団長が激励のあいさつをしました。

続いて、復興一揆に取り組んだ、それぞれの地域から「洋野町では町長もあいさつした」「二揆の資料館である田野畑村資料館前で集会をし、町長もあいさつした」「仮設住宅では、どうしても話をしたいと、住民がマイクを握った」などの報告があり、この声を、10日には盛岡の集会に、そして12月には東京に響かせることを確認しました。

集会後、「小〇（困る）」の旗をなびかせ、釜石市内をデモ行進。復興一揆をアピールしました。

大人も子どもも青年も

全国から7,000人

オール福島でなくせ!原発

11月2日、「なくせ!原発 安心して住み続けられる福島を! 11.2ふくしま大集会」が福島市内・荒川運動公園(河川敷)で開催され、福島県内各地や全国から7,000人を超える労働者や市民が参加し、岩手からは約70名が参加しました。



会場には70ものブースが会場をぐるりと囲み、再生エネルギーを考えるコーナー、避難者の方々の交流コーナー、福島の野菜・果物やB-1グランプリで優勝した浪江焼きそばを販売するブースもあり、まるでお祭りのようににぎわいました。

福島では59自治体のうち53自治体が県内全ての廃炉を求める意見書を採択しています。集会では福島の青年をはじめ、北海道、新潟、九州の各代表によるリレートークなどが行われ、オール福島、オール日本での原発なくせの運動をさらに大きくしていくことが確認されました。

集会後には2コースに分かれ、「収束宣言を撤回しろ!」「汚染水を海へ流すな!」と、大きな声でシュプレヒコールをあげながら市内をパレードしました。

東日本大震災からの復興、住民のくらしや雇用を守るために憲法をいかした行政を!! 憲法キャラバン

全労連が提起した「輝け憲法全国縦断キャラバン」は11月6日(水)岩手入りとなり、朝の盛岡駅前宣伝、10時からの岩手労働局との懇談・要請、午後の岩手県雇用対策労働室と岩手県復興局との懇談・要請を行いました。翌7日は、奥州市と一関市を訪問。被災地の雇用問題では、特に看護・介護職員の確保が切実だということが浮き彫りになりました。



要請するいわて労連・金野議長(前列右)と中野委員長(前列左)

胆沢支部



お父さんの誕生日なので
「トトロケーキ」を作っています!

トトロ ケーキ作り & 昼食交流会

11月16日(土)に開催し、36名が参加。トトロケーキ作りは、目、ひげ、おなかなどのパーツ作りが思ったよりも難しく、そして楽しい時間でした。同じ材料なのに、一つひとつの表情が全部違うという出来上がりも楽しいものになりました。食べるのがもったいないくらいかわいいトトロ(中には、トトロではない別の生き物も…)に子どもも大人も大満足でした。



愛嬌たっぷりのトトロ

人間らしい働き方を

第58回はたらく女性の中央集会在愛知



土屋トカチさんと矢崎暁子さん

11月16日、17日、名古屋・ウインク愛知で「第58回はたらく女性の中央集會」が開催され、2日間でのべ1280人が参加しました。1日目は10の分科会・見学分科会に分かれ、終了後会場から名古屋駅周辺を集會参加の女性たちが平和、男女の格差是正、保育

の充実、TPP参加反対などを訴え行進しました。

2日目の全体会では、「ブラック企業にご用心！就活・転職の落とし穴」が上映され、監督の土屋トカチさんと、弁護士の矢崎暁子さんがブラック企業の問題について対談しました。土屋さんは「ブラック企業で問題なのは、若者が相談できるところがなく、自分を責めてしまうこと。若者は本当に過酷な状況で働いている」と告発。30歳の矢崎さんは「同世代として悔しい。映画の中で大学の就職活動指導で『企業に気に入られる人間に』と言われると、小学生の時から指導は始まっている」と応えました。



アピール宣言をする参加者

「もしも自分の子供などがブラック企業に就職したかとして、土屋さんは「本人は、冷静に考えれば『できない』ことでも、過酷な職場の中では『できる』と思

前半に愛知労働問題研究所理事の

駒田富枝



さんが年代

や働き方によって変化する女性のリスクをわかりやすく解説し、「日本は母性保護の点で国際社会から遅れをとっている。権利を学び、職場で語ることが大事」と話しました。

後半は経絡ケアセラ

い込んだりしているので、それは違うんじゃないかと何度も声をかけてあげることが大事」、矢崎さんは「親はグチを聞くだけでいい。アドバイスや説教はいらない。子供は、親に心配をかけたくないているから冷たい言葉を言うこともあるかもしれないが、気に

分科会

健康でいきいきと働き続けるために



ピー研究機構代表の小嶋夕佳さんが経絡やヨーガの話をしながら、実際簡単な動きを参加者と行い、運動で脳を活性化できることを体験しました。「運動で大事なものは、自分が気持ちいいかどうか、続けられれば絶対脳は活性化します！」と気持ちも身体もリフレッシュしたひと時でした。

かけていることは伝えて欲しい」と述べました。

土屋さんは「仕事のことや命をなくすのはおかしい。命はかえってこない。過労死の問題はお金で解決できない。世の中を変えていかないと！」と会場にエールを送り対談を結びました。

◆◆県医労フレッシュセミナー◆◆◆◆

学んで交流してリフレッシュ!



一回目に参加したみなさん

今年度も「ホテル森の風 鶯宿」を会場にフレッシュセミナー（新入組合員労働学校）を開催しました。10月26日～27日と30～31日の二回にわけて開催されたセミナーには、受講生と中央執行委員、青年部役員などのべ45名が参加しました。セミナーでは三つの講義が行われ、「県医労の歴史」、「労働者・労働組合とは何か」、「自分たち権利」を学びました。



「労働者・労働組合そして県医労」の講義

緊張気味のフレッシュユさんでしたが、中央執行委員や青年部役員が担当したレクリエーションや夕食交流会を通して次第にうち解け、学んだだけではなく、仲間づくりにもなった二日間でした。

労働組合のことや権利を学習するだけではなく、同じ県立病院で働く仲間と交流し、リフレッシュできるフレッシュセミナーに職場の先輩が声をかけ、積極的に送り出しましょう。

横濱&鎌倉みやげ

「県医労中央交流会 in 神奈川」に参加できなかった青年部のみなさんへ「横濱」もしくは「鎌倉」みやげを20名様にプレゼントします。

ハガキに支部名、氏名を明記の上、下記の宛先までお申し込みください。厳正なる抽選の上、支部を通じてお届けします。

応募先

〒020-0023

盛岡市内丸11-1

県医労青年部まで

〆切り

12月末まで



参加者の感想

◆年次や超勤記入など新人だから使えない、書けないという思いがあったが、権利があることを知り、ためになった。

◆使える権利はどんどん使って自分の生活を豊かにしたいです。

◆他支部のみなさんと楽しく交流できて良かった。

◆人員を増やして、労働環



グループに分れて職場交流

境の改善をして欲しい。自分も頑張りたいと思える内容でした。

てんやわんや

異動して半年経ちました。通勤で歩くようになったせいか腹が減って仕方がない今日この頃です。

本庁支部 藤虎

毎日帰りが遅くなり冷蔵庫の野菜が全滅。肌はボロボロ、普通の生活がしたい。

一戸支部 毎日ぐったり

組合がなかったら今年の手取りはもっと減っていた。組合がなかったら職員の定数見直し条例はまだ議論さえなされていないかも。組合活動が見えにくいと言われる中で、これから統一行動、集会が増えます。寒い中ですが皆さん、がんばりましょう。

宮古支部 ○○

仕事を辞めたい……って思いつつ働いていますが、世

の中、来年度の募集の定員割れも話題です。県立病院の将来……20年前には想像もしなかったことが今現実。超高齢化を迎える2025年以降は……岩手の医療・介護、考えないといけないですね。

中央支部 3匹の子ブタの母

春から夫が単身赴任となり、家族は私と高3の息子の2人っこのです。めつきり寒くなり鍋でも囲みたいところですが、2人っこの鍋

は寂しい!!なので、今年は鍋を食わずにいます。夫よ!早く帰ってこーい!

江刺支部 腰の痛い女



当選者発表

10月号パズル

10月号パズル「まちがいは7つ」には30名の応募があり、全員が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

■10月号当選者(敬称略)

越冬カメ虫(一戸支部)、藤虎(本庁支部)、かぼちゃ、ふなっしー、アキバレ(中央支部)、秋晴れ(遠野支部)、ウーロ(高田支部)、千の夢、果、次の10名が当選されましたので図書カードをみたママ(宮古支部)

とんがらし

お酒を飲む機会が多くなるこの時期、決してやつてはならない事の一つに「飲酒運転」がある。医療局でも毎年のように酒気帯び運転などで処分を受ける事象が発生している。もしも人身事故でも起こせば、自分と相手、家族を含む人生を大きく狂わせることになる。自ら飲酒したら

運転しないことは当然だが、飲酒した者への車両提供、飲酒運転車両への同乗についても注意が必要だ▼これまでも自動車事故(飲酒運転)抑制に向けては、悪質な運転に適用する「危険運転致死傷罪」が新設されるなど、厳罰化が進められてきた。しかし実際には、運転手が正常な運転が困難な程に酩酊状態であったのかを立証することが難しく、適用例が少ない状況にある▼11月20日に成立した新法「自動車運転致死傷行

為処罰法」では、危険運転致死傷罪(上限懲役20年)と、自動車運転過失致死傷罪(上限懲役7年)との刑罰差を埋めるため、懲役15年の中間的な刑罰などが新設され、来年5月までに施行される▼また新法では、持病の影響による事故も危険運転致死傷罪を適用し、最高で懲役15年とする。近年、てんかん発作などにより登校中の児童の列に車が突っ込み、多数が死傷する事故も発生したが、遺族からは「懲役7年では量刑が軽すぎる」との声もあつた。対象となる具体的な傷病は今後決まるが、発作を伴うものが対象となりそうだ。無免許運転による死傷事故でも同様の声があり、今回法定刑が引き上げとなる▼アルコールの体内分解には、時間がかかるもの。量を控え、夜遅くまで飲まないことも大切。「これくらい大丈夫」ではなく、「酒を飲んだら車を運転しない」ことを、改めて肝に銘じる必要がある。(す)

県医労青年部

スキー・スノーボード交流会

と き 2014年1月18日(土)
19日(日)

ところ ホテル安比グランド&タワー
(八幡平市・安比高原)

 スキー・スノボしない方も大歓迎!!

 宿泊費&リフト券代は
組合本部で負担します。



※詳細は別途送付した
チラシをご覧ください。

職場川柳

◇原発も 秘密と言われ 危険知る

◇病棟じゃ 正月連休 難しい (特定戦争保護法案)

◇帰ろうと 必死に働く でも残業 (限界ギリギリのナース)

◇コメ減反 調整縮小 戸惑いも (TTPPに反対する農家)

◇一票の 格差認めた 最高裁 (真の民主主義を願う市民)

12月の予定

- 1日(日) 地域医療を守る運動全国交流集会(東京)
- 2日(月) 看護部会(県民会館)
- 5日(木)～6日(金) 日本医労連春闘討論集会(伊東温泉)
- 7日(土) 女性部南部ブロック集会
女性部三陸ブロック集会
いわて青年集会2013クリスマスパーティー(盛岡)
- 7日(土)～8日(日) 日本医労連全国給食問題交流会(北九州)
- 11日(水)～12日(木) いわて労連秋の労働相談ホットライン
- 12日(木) 給食問題研究会(アイーナ)
- 14日(土) 女性部中部ブロック集会(遠野)
- 18日(水) 拡大支部長会議(エスポワールいわて)

1月の予定

- 10日(金) いわて労連・春闘共闘旗開き(サンビル)
- 17日(金) 拡大支部長会議(愛真館)
県医労旗開き(愛真館)
- 18日(土) 県医労春闘学習会(愛真館)
- 18日(土)～19日(日) 青年部スキー・スノーボード交流会(安比高原)
- 25日(土) 岩手医労連中央委員会
岩手医労連旗開き
- 26日(日) いわて労連評議員会



懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つの間違い箇所(印)をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で10名の組合員に図書カードを送ります。送りは先0200-00023 盛岡市内丸11-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は12月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に「つ



まちがいは7つ



ぶやき」(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合があるので、匿名希望の方は必ずペンネームをお書きください。ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必要となりますので、支部名・本名の記入をお忘れなく!